



坂野佳宏 議員

スポーツ振興について

町内のスポーツクラブ減少の中、今後の育成方針、施設整備の考え方をお聞きしたい。

学童野球、スポーツ少年団は指導者の尽力により活発な活動をされている。

一方、成人スポーツクラブは年々、チーム数が減少している。ソフトボールチームからは、グランドが確保出来ないため試合等が組めないと嘆かれている。

インターネット予約の検討も必要では?

山村町長 広陵町におけるスポーツ振興については、第4次広陵町総合基本計画としてスポーツ施設の有効利用を図りながら、スポーツ活動の場と機会の充実を進めることとしています。

今後は、スポーツ施設の適正管理と有効活用とともに、スポーツ団体指導者育成の重要性がますます高ま

ると考えられます。

若者から高齢者までのスポーツ活動の推進には、地域住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備が必要なことから、総合型地域スポーツクラブ（地域の皆さんのが主役となつて運営するクラブ）の創設支援を推進しております。

お尋ねのチーム減少につきまして

は、平成6年の二十四時間マラソンソフトボールが開催された時は47チームの参加がありました。

現在は、12～13チームに減少している現状があります。原因としては、個人の生活優先の社会になってきたのではないかと推測しています。

スポーツは私達の健康維持、増進にとつて有効であり、総合型地域スポーツクラブの普及に努めてまいります。



吉村眞弓美 議員

広陵町の胃がん対策について

ピロリ菌はWHOによつて胃がんの確実発がん因子として、アズベストと同じ最高の危険性を示す「グループ1」に認定されています。日本では98%以上の胃がんが、ピロリ菌感染に基づき起っています。胃がんは、ピロリ菌による感染由来のがんで、除菌することで胃がんの発生を3分の1に減らせます。又、ピロリ感染胃炎は、ほぼすべての胃の病気の根源であるため除菌治療することにより、胃がんを始め殆んどの胃の病気を予防できる可能性が高いのです。これを検診に入れるかどうか、除菌をするかどうか、ひとえに町長のご決断だと思いますが、いかがでしようか。

山村町長 医療技術は、日々飛躍的に進歩をしていますので、その時代に応じた検診方法を取り入れていくことも大切と考えます。ご提案の検

診方法についても検討をしてまいります。

公共交通について

11月15日付の広陵で、お知らせの項目に、奈良交通において「近鉄高田駅」～「竹取公園東」について平成26年10月以降の廃止や減便を検討と記載されました。

さつそく通勤で使用されている方から、ご心配のお声をいただきました。この路線バスが廃止や減便になつてしまつた時、広陵町では、どのようにフォロー体制を考えた。おられるのか、現在どの様な方向に協議が進んでいるのかお聞かせ下さい。

山村町長 現在のところすぐに廃止には至らないと想っています。しかし、今後も利用者が減少しますと、当然のことながら廃止や減便の議論も出てくると思います。

ので、現状を維持するためには、積極的に路線バスを利用いただくよう広報でお知らせさせていただいたところです。今後も路線バスの維持に向け、協議してまいります。

